本案件は、〜といった課題解決に向けて、論文調査等を行い、ポートフォリオ分析や、マッチング法、回帰分析を用いたESG投資効果測定の分析手法を纏めた。本件で紹介した分析手法は、責任投資推進部、債券部、外国債券部の各担当者に報告させていただき、各分析手法におけるメリット・デメリットについてディスカッションを行なった。ディスカッションの結果、分析手法の汎用性や解釈性、またコントール変数の多様性等を加味して、〜（）における重回帰分析の実装を試みることで合意を得た。また、〜章に記載の通り、〜（）の分析手法の実装に向けて、データの取得可能性を確認した上で、データ取得のフォーマットを作成し、データ構築のサポートを行なった。今後の予定として、長期間のデータが蓄積されるよう、引き続きデータ構築についてサポートを行うとともに、〜（）の分析手法の実装についてコンサルティングを行う予定である。